

## 第2回目 [講義理解の Can-do statement] (自己評価)

質問：大学の講義（日本語）を受講しているとき、以下のことができますか？

※先生が中心となって話している一般的な講義を想像して、自分ができると思う程度に○をしてください。

※第1回目の講義理解の Can-do statement(自己評価)と比較してみて、能力が伸びたと思う部分を確認してみましょう。

(5 = よくできる, 4 = できる, 3 = どちらでもない, 2 = あまりできない, 1 = できない)

No.	内容	できる				できない
1	分からないことがあった時、講義終了時に講義の感想や質問を書く用紙（リアクションペーパー／ミニツツペーパー）を利用して先生に質問することができる	5	4	3	2	1
2	分からないことがあった時、 <u>授業中</u> に先生に直接質問することができる	5	4	3	2	1
3	分からないことがあった時、 <u>授業後</u> に先生に直接質問することができる	5	4	3	2	1
4	分からないことがあった時、詳しく日本人に質問することができる	5	4	3	2	1
5	先生のジェスチャー（身振り手振り、指差し、表情・体の向きの変化）、立ち位置の移動などに注意して聞くことができる	5	4	3	2	1
6	先生の話のスピードや声の大きさを重要なポイントであるかを判断することができる	5	4	3	2	1
7	先生の話の中に沈黙 <small>ちんもく</small> があったら、次に重要なポイントが提示されるかもしれないと判断することができる	5	4	3	2	1
8	先生が講義を進める際の行動（スライドを使って話す、ビデオを使う、プリントを配付する）等に注意しながら聞くことができる	5	4	3	2	1
9	先生の声がよく聞こえるところに座る（他の学生の声などがうるさくて先生の声がよく聞こえないときは、声がよく聞こえるところに移動する）ことができる	5	4	3	2	1
10	先生の顔がよく見えるところに座る（教室が広くて先生の顔がよく見えないときなどは、よく見えるところに移動する）ことができる	5	4	3	2	1
11	講義を受けた後、受講している留学生同士で助け合う（ノートを共有したり、わからないところを質問し合う）ことができる	5	4	3	2	1
12	同じ専門の学生が集まるコミュニティ（研究会や委員会）に参加することができる	5	4	3	2	1
13	聞き取れない言葉があったとき、音をそのままひらがなや母語でメモして後で調べることができる	5	4	3	2	1
14	通常は自分が慣れている言語でメモをとるが、専門用語など重要な言葉や文章は日本語で書くことができる	5	4	3	2	1
15	日本人の学生がメモを取り始めたときに、その様子を見て、自分もそのタイミングでメモを取ることができる	5	4	3	2	1
16	国で習ったことや持ってきたノートを参考にして授業を聞くことができる	5	4	3	2	1
17	講義が始まる時に先生が言う「今日は〇〇（＝主題）について話をします」等の講義全体に関わる <u>大きな話題</u> を聞き取って、主題をノートに書き取ることができる	5	4	3	2	1

18	順番や重要なポイントを示す「まず」「第一に」「つぎに」「それから」等の言葉を聞き取って、そのあとに続く言葉をノートに書き取ることができる	5	4	3	2	1
19	先生が話の中で使う「一方で」「反対に」「逆に」等の言葉を聞き取って、反対の意味の記号を書いたり、ノートに書き取ることができる	5	4	3	2	1
20	先生が一つの話題の文章をまとめるときに使う「つまり」「以上のように」「よって」「したがって」「まとめますと」等の言葉を聞き取って、ノートにまとめ部分を書き取ることができる	5	4	3	2	1
21	先生が強調するときに使う「ここが大事です」「ここがポイントです」等という言葉を読み取って、重要箇所としてノートに書き取ることができる	5	4	3	2	1
22	先生が学生に問いかける疑問文「どうして〇〇でしょうか」「何が〇〇でしょうか」の言葉を聞き取って、〇〇の部分を書き取ることができる	5	4	3	2	1
23	先生が定義を示す「〇〇というのは●●です」「〇〇とは●●を指します」等の言葉を聞き取って、〇〇や●●の部分を書き取ることができる	5	4	3	2	1
24	先生が言葉を言い換えるときの表現「〇〇というのは、言い換えると●●」「〇〇は、つまり、●●」等の言葉を聞き取って、〇〇＝●●などとノートに書き取ることができる	5	4	3	2	1
25	先生が話の中で「たとえば」「例を挙げると」等という言葉を使ったときに、例として認識することができる	5	4	3	2	1
26	先生が自分が先に言った言葉を、もう一度取り出して話すとき「先ほど言ったように」「さっき言った●●については」等の言葉を聞き取って、前に取ったノートの部分に戻ってノートテイキングを続けることができる	5	4	3	2	1
27	先生が他者の言葉や行動について触れたときの引用表現「経済学者Xによると、彼の著書で●●と述べています」等の言葉を聞き取って、講義者以外の発話であることをノートに書き留めることができる	5	4	3	2	1
28	先生が自分の考えや発話の意図を示す部分「私はこれは〇〇と思います」「～すべきだと考えます」等の部分を読み取って、講義者の立場、意図をノートに書き取ることができる	5	4	3	2	1
29	先生が受講者に指示する言葉「ちょっと考えてみてください」「これを見てください」等の言葉を聞き取って、実際にその行動を行うことができる	5	4	3	2	1
30	「あー」「えー」「まあ」「で」などの言葉（フィラー）を認識し、その部分で休んだり、メモを書いたり、重要な言葉との区別をすることができる	5	4	3	2	1
31	講義全体の内容を把握し、最も重要なポイント（最終的に先生が言いたかったこと）が何だったのかがわかる	5	4	3	2	1
32	わからない言葉があっても、前後の言葉や文脈から意味を推測することができる	5	4	3	2	1
33	先生の話す言葉や行動から、次の話の内容や行動を予測することができる	5	4	3	2	1
34	講義全体の構造を認識し、講義の <u>主題</u> （大きな話題）の中で展開する <u>中程度の話題</u> や、その中の <u>小さな話題</u> を区別して聞くことができる。	5	4	3	2	1

35	講義内で展開する <u>中程度</u> の話題や、その中の <u>小さな話題</u> の間の関連性やつながりを理解することができる	5	4	3	2	1
36	先生が講義中に使う「わかりますか」「大丈夫でしょうか」などの受講生の理解を確認する言葉を聞いて、自分の理解を確認することができる	5	4	3	2	1
37	講義を受ける前に、その授業のシラバスや専門書を読んだり、専門用語を調べて、知識を得たうえで受講することができる	5	4	3	2	1
38	授業中、先生に質問されたときに、質問の意図や内容を十分に理解して答えられる	5	4	3	2	1
39	他の学生と先生がやりとりをしている時に話の内容を十分に聞き取ることができる	5	4	3	2	1
40	先生が明示的に言わなくても、 <u>ひひ</u> や暗示的な内容、意図していることがわかる	5	4	3	2	1

【その他】 上記 40 項目にないけれど、自分自身で講義を理解するためにやっていること、もしくは理解するために必要だと思っていることがあれば、以下に書いてください。